令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）

外国語「英語」（１／４）

学校臨床心理専攻　学校臨床心理専修

以下の注意事項をよく読み，次頁からの問題全てに解答しなさい。

注意事項

①　この試験問題の構成と配点は以下の通りである。

問題Ⅰ：〔２頁から３頁〕　配点は50点。
問題Ⅱ：〔４頁〕　配点は50点。

問題Ⅰと**問題Ⅱ**の総計で100点。

②　答案が解答用紙に書ききれなくなった場合は，当該の解答用紙の裏面に続けて書くこと。

③　２枚の解答用紙のそれぞれに受験番号を記入すること。

問題Ⅰ．　次の英文を読んで後の各問に答えなさい。（50点）

著作権の都合により公開できません。

（出典）Sandler, J., Dare, C., & Holder, A. (Revised and expanded by Sandler, J., & Dreher, A. U.) (1992). *The Patient and the Analyst: The Basis of the Psychoanalytic Process*. Second Edition. Karnac Books.
（但し，出題に際して原文の一部を改変している。）

問Ⅰ－１．　下線部(a)を日本語に訳しなさい。（30点）

（※　次の頁にも問題Ⅰの続きがあります。）

問Ⅰ－２．　下線部(b)の意味に最も近いものを以下の①～④の中から選びなさい。(10点)

① フロイトは，分析家は自分自身の無意識を電話の受話器のように患者に合わせて調整することで，患者の無意識を再構成することができる，と述べた。

② フロイトは，分析家は患者から電話が来た際には自分自身の無意識を活用して話を傾聴しなければならない，と述べた。

③ フロイトは，分析家はマイクを通じて伝わってくる音波を自由連想しながら聴くことによって患者の無意識を理解しなければならない，と述べた。

④ フロイトは，分析家はちょうど電話の受話器へ伝わってきた振動を音波に変換するように，患者の無意識も分析家の無意識で音波に変換する，と述べた。

問Ⅰ－３．　この文章で示されているフロイトが推奨する分析家の態度について最も適切なものを以下の①～④の中から選びなさい。(10点)

① 分析家は患者に対して自分のパーソナリティを自由に開示するのが望ましい。

② 分析家は患者に対して不透明な存在でいるのが望ましい。

③ 分析家は患者に対して逆転移を活用して介入できるのが望ましい。

④ 分析家は患者に対して必要ならば電話相談も併用するのが望ましい。

問題Ⅱ．次の英文を読んで後の各問に答えなさい。（50点）

著作権の都合により公開できません。

（出典）　Dattilio, F. M. (2010). *Cognitive-behavioral Therapy with Couples and Families: A Comprehensive Guide for Clinicians.* The Guilford Press.　（但し、出題に際して原文の一部を改変している。）

問Ⅱ－１．　下線部(1)を日本語に訳しなさい。（25点）

問Ⅱ－２．　下線部(2)について、なぜ妻の利己的な行為を無視したり、許したりするのでしょうか？日本語で説明しなさい。（25点）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
解答用紙（１／２）

外国語　「英語」

学校臨床心理専攻　学校臨床心理専修
受験番号　（　　）

Ⅰ：得点 ／５０点

問題Ⅰ－１．　下線部(a)の日本語訳（３０点）

問題Ⅰ－２．　選択した数字を記入（１０点）

問題Ⅰ－３．　選択した数字を記入（１０点）

令和６年度　北海道教育大学大学院教育学研究科入学試験問題（一般選抜後期募集）
解答用紙（２／２）

外国語　「英語」

学校臨床心理専攻　学校臨床心理専修
受験番号　（　　）

Ⅱ：得点 ／５０点

問題Ⅱ－１．　下線部(1)の日本語訳（２５点）

問題Ⅱ－２．　日本語による説明（２５点）